

財) 埼玉県地方自治研究センター公開セミナーのご案内

# 地域包括ケアの現場はどうなっているのか

—介護支援専門員が現場で感じていることを聞いてみよう—

日 時 2019年11月30日(土) 14時から2時間程度  
会 場 さいたま市浦和区 埼玉会館6階 6D会議室(裏面地図)  
講 師 井上尚志(介護支援専門員: 民間の居宅介護支援事業所勤務)  
略歴: 2008年ヘルパー2級、2010年介護福祉士、2015年介護支援専門員  
参加費 資料代として500円(賛助会員・団体会員構成員は無料)

年間事業計画のセミナーを開催します。

今回のテーマは、介護保険です。少子高齢化は極限に来ていて、少子化対策とともに高齢者を取り巻く課題は自治体業務の中心的で、大きな課題となっています。

介護保険は、当初「介護が必要になった高齢者が、自宅でその人らしく今までの暮らしを続けられる」ことを理想に掲げて始まりました。その後、高齢化が進行し介護需要は急速に増加しています。まだまだ施設利用の要望にもこたえきれていない状態です。

また、介護現場の労働条件はとても厳しく、様々な対策が打たれながらも「施設はできたけれども、働く人が足りなくて定員まで入所させられない」「ヘルパーのなり手がいくら募集しても集まらない」現実があります。

介護保険の内容も変わってきて、要支援や要介護の一部が地域の総合事業となり、市町村格差も生まれてきています。地域包括ケアの取り組みが重要になっています。

今回はそんな介護の現場で働く井上氏に介護現場で起きていることを話していただきます。関係者のたくさんの参加をお待ちしております。

参加申込書

氏 名	住 所	連絡先☎	所 属

\* 当日参加も可能ですが資料準備のため事前にFAXでお申し込みください

FAX: 048-836-1113 TEL: 048-816-8866

主催: 財) 埼玉県地方自治研究センター 後援: 自治労埼玉県本部・県労評会館